

こ た び
ちよ古旅

だざいふ



太宰府
歩いての
魅力
体感!!

歴史の散歩道ガイドブック2



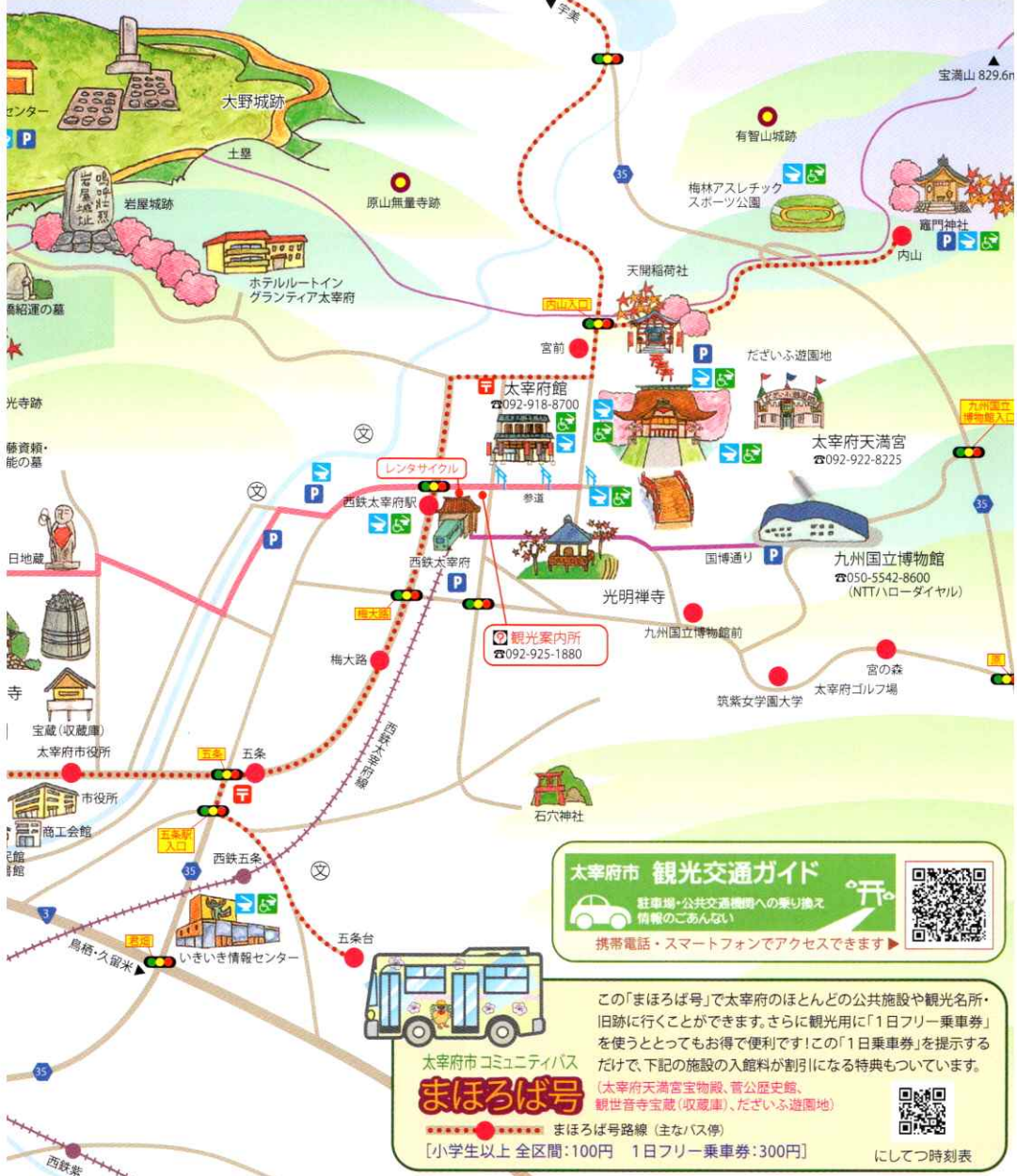
文化ふれあい館
☎092-928-0800

< 凡 例 >

- まほろば号路線 (主なバス停)
- 歴史の散歩道
- 九州自然歩道
- 歴史スポット
- トイレ
- 駐車場

太宰府への交通案内






太宰府市 観光交通ガイド

駐車場・公共交通機関への乗り換え情報のごあんない

携帯電話・スマートフォンでアクセスできます ▶




太宰府市コミュニティバス
まほろば号

まほろば号路線 (主なバス停)
[小学生以上 全区間:100円 1日フリー乗車券:300円]

この「まほろば号」で太宰府のほとんどの公共施設や観光名所・旧跡に行くことができます。さらに観光用に「1日フリー乗車券」を使うととってもお得で便利です!この「1日乗車券」を提示するだけで、下記の施設の入館料が割引になる特典もついています。

(太宰府天満宮宝物殿、菅公歴史館、観世音寺宝蔵(収蔵庫)、だざいふ遊園地)



にしてつ時刻表

太宰府へのアクセスも「より楽しく、より便利」になりました。

太宰府観光列車「旅人」

列車に乗ったら、そこが太宰府。そんな列車を目指しました。
太宰府の観光スポットを日本画風に描いた外装と、開運を願う和文様でデザインされた内装が特徴の「乗って楽しい、見て楽しい」新たな太宰府名物です。



旅人
HIMIKITETSU



時刻表はこちら ▶

太宰府ライナーバス「旅人」

JR博多駅や福岡空港から乗り換え不要で太宰府へお越しいただけます。

博多太宰府間バス路線
はたらくてはいる




詳細はこちら ▶

歴史の散歩道

太宰府市は、古くから政治・文化の中心地として、歴史上で大きな役割を果たしてきました。現在でも市内各所でその名残を目にすることが出来ます。

そうした大宰府史跡の中心部を東西に貫き、特別史跡水城跡から太宰府天満宮までをつなぐ約7.2 kmの散策路「歴史の散歩道」。筑前国分寺跡や大宰府政府跡、観世音寺、戒壇院などの主要な史跡をゆっくり巡りながら、歴史の息吹を感じることもできる、絶好の散策コースです。

太宰府市文化ふれあい館

四王寺山の懷に抱かれ、高台に位置する太宰府市文化ふれあい館は「歴史の散歩道」の中核施設として誕生しました。

屋上からは水城の雄大な姿が望め、屋外では奈良時代に建てられた筑前国分寺の七重塔を10分の1スケールで復元した模型をいつでも見学できるなど、当時の壮大な風景を思い浮かべることができる場所です。筑前国分寺跡や国分瓦窯跡などの史跡地にも近く、史跡散歩を楽しむ方々などにとって、利用しやすい施設です。

このガイドブックは、ふれあい館を起点に、持ち歩きながら史跡を巡っていただけるよう、地図や解説を掲載しています。さあ、あなたも太宰府散策に出発してみましょう。思わぬ新発見が待っているかもしれません。

太宰府市文化ふれあい館

〒818-0132 福岡県太宰府市国分四丁目9番1号

電話：(092)928-0800 / FAX：(092)928-0802

開館時間：午前9時から午後5時

休館日：月曜日（祝日の場合同一週の最初の平日）

年末・年始（12月28日～1月4日）

URL：<http://www.dazaifu-bunka.or.jp>



歴史の散歩道（朝日地藏）



大宰府式鬼瓦（復原）



文化ふれあい館外観



筑前国分寺 七重塔復元模型



歴史の散歩道（武藤資頼・資能の墓）

文化ふれあい館 ～ 大宰府政庁跡 まで



みかさだんいんしゅつどち 御笠団印出土地

ここから「御笠団印」と彫られた銅印が出土しました。御笠団は平安時代、筑前国ちくぜんのかにに置かれた4つの軍団（兵士の集団）のひとつです。



さかもと はちまんじんじゃ 坂本八幡神社

祭神はおうじんてんのう応神天皇です。奈良時代には、この辺りに大宰府の長官であったおおとものたびと大伴旅人の邸宅があったといわれており、新元号ゆかりの地として注目を集めています。



徒歩での移動めやす

文化ふれあい館から

大宰府政庁跡まで約0.9km

所要時間 約15～20分

ちよっと
よしみち

げんせいほういんのはか
玄清法印之墓

玄清法印は天台宗の高僧で、766年、太宰府に生まれたと伝えられています。17歳で失明、盲僧となった後は琵琶を弾いて数々の奇跡を行い、人びとを苦難から救ったということです。



きしもじん
鬼子母神（オカッテンサン）

安産と子育ての守り神である鬼子母神は、特にお産に関してご利益があるといわれており、現在でも地元の人たちに崇められています。



だざいふ せいちょうあと
大宰府政庁跡

地方最大の役所「大宰府」が置かれた場所です。その役割の重要性から、「遠とおの朝廷」とも呼ばれていました。

だざいふ てんじかん
大宰府展示館

発掘された遺構をそのまま保存公開している施設です。また遺物や模型によって、古都大宰府を分かりやすく紹介しています。



(公益財団法人古都大宰府保存協会写真提供)

大宰府政庁跡 ~ 観世音寺 まで

かいだんいん 戒壇院



天下三戒壇のひとつです。奈良時代、ここで僧侶の規範である戒律を受けなければ正式な僧尼とは認められませんでした。



がっこういんあと 学校院跡



役人を養成するための学校が置かれており、九州諸国の郡司の子弟たち 200 人以上がここで学んでいました。

徒歩での移動めやす

大宰府政庁跡から

観世音寺まで約 0.9km

所要時間 約 10 ~ 15 分



ちょっと
よりみち

むとうすけより すけよし はか

武藤資頼・資能の墓



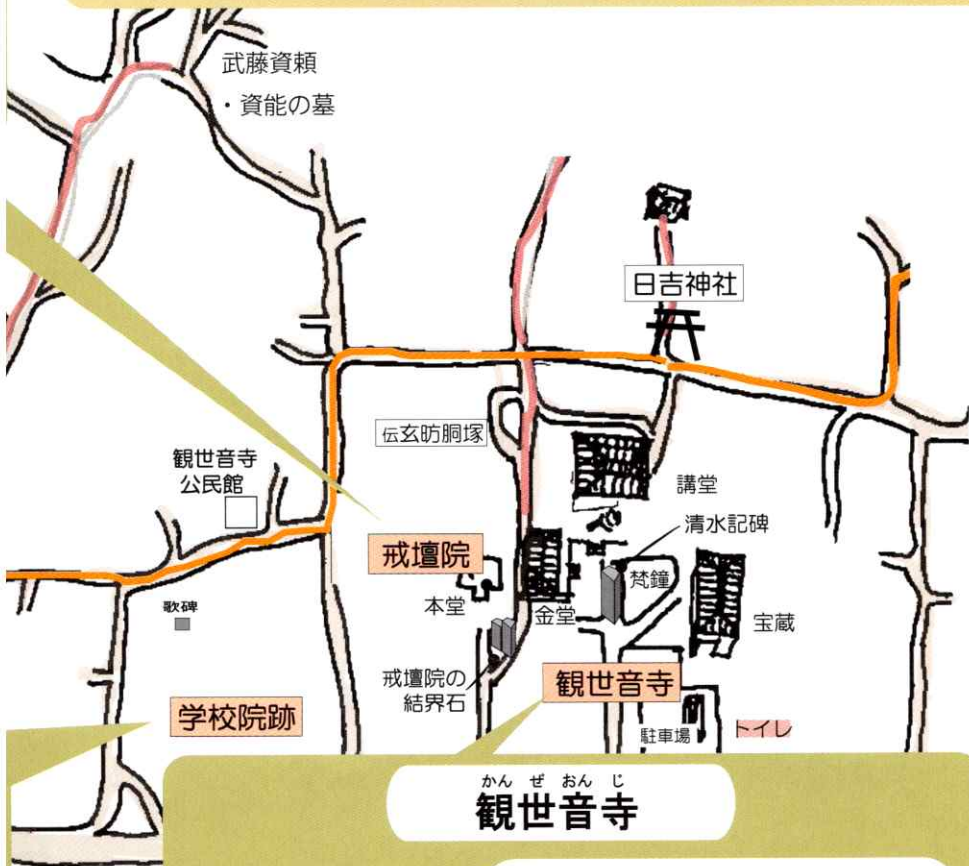
武藤資頼・資能父子は鎌倉時代の武士で、武家の職である守護に加え朝廷の官職である大宰少弐^{だざいのしょうに}としても政務を行っていました。向かって左の五輪塔が資頼、右の宝篋印塔^{ほうきょういんとう}が息子資能の墓といわれています。

ひよしじんじゃ

日吉神社

おおなむちのみこと

祭神は大己貴命です。戦国時代、九州を平定した豊臣秀吉が、太宰府天満宮に参詣した際、ここに陣を張ったといいます。



かんぜおんじ

観世音寺



齊明天皇追悼のため、天智天皇の発願によって建てられました。奈良時代の半ばまでには完成していたと考えられています。九州の寺院の中心的存在として繁栄しました。

観世音寺 ~ 太宰府天満宮 まで

すいてい こんこう じ あと 推定金光寺跡



観世音寺に付属する寺院の一つと推定されます。発掘調査によって礎石建物群などがみつかっています。



ちよっと
よみみち



とくざんなかむらせんせいひ いのうえてつじろうせんせいせいたんちひ
徳山中村先生碑・井上哲次郎先生々誕地碑

太宰府の漢学者・中村徳山と、その門弟であり帝国大学で日本人初の哲学の教授となった井上哲次郎の碑です。徳山碑の碑文は哲次郎によって記されました。



徒歩での移動めやす

観世音寺から

太宰府天満宮まで約 1.9 Km

所要時間 約 20 ~ 25 分



(太宰府天満宮写真提供)

だざいふてんまんぐう 太宰府天満宮

無実の罪で大宰府に左遷され、
この地で亡くなった菅原道真を
祀っています。鶯替え・鬼すべ
神事、曲水の宴、神幸式など、
古い歴史をしのばせる祭りが行
われています。



(九州国立博物館写真提供)

きゅうしゅうこくりつ はくぶつかん 九州国立博物館

常設展示では、日本文化
がアジアとの関わりの中
でどのように形成されて
きたのか、約 800 点もの
資料を通して紹介してい
ます。

こ ちよ だ たい ちよ古旅 だざいふ

- 歴史の散歩道ガイドブック2 -

制作：太宰府市文化ふれあい館

発行：公益財団法人 太宰府市
文化スポーツ振興財団
太宰府市五条3丁目1-1

発行日：令和元年10月14日

※ 掲載情報は令和元年のものです。



(太宰府天満宮写真提供)

